

レディオ湘南 ハミングふじさわ「歴史探訪」に出演します

「藤沢市民病院の50年の歴史を振り返る」と題し、4回にわたって職員が出演します。是非お聞きください。

10月6日(水) 常田院長

10月13日(水) 石原看護部長

10月20日(水) 薬局 喜古薬局長 / リハビリ室 濱野室長

10月27日(水) 患者総合支援センター 向副センター長



50周年記念メニュー

開院50周年を患者さんとともに祝いしたいという気持ちを込めて、10月1日(金)の夕食は「50周年特別メニュー」を準備しました。お祝いといえば、やはりお赤飯、そして鯛だろうとなりました。鯛はさすがに切り身となりましたが、紅白のなますや、お祝いまんじゅうも添えて、お祝い膳が完成しました。子供たちにはオムライスとエビフライです。

メニュー

赤飯
鯛の塩焼き
炊き合わせ
紅白なます
みょうがの清汁
お祝い饅頭



小児用メニュー
オムライス
エビフライ
ほうれん草のソテー
コンソメスープ
フルーツポンチ



職員ユニフォーム

病院職員のユニホームが「白」だった時代から、今は徐々にカラーに変わっています。また、素材もしわになりにくく、伸縮性があるものになっています。病院職員のユニフォームの変遷をご紹介します。

看護部

白のズボン型

夜勤時はブルー系へ

2022年4月～
エンジ系に

看護助手も
グリーン系に変更予定

医療技術部

白と紺の混合



編集後記

昨年から「コロナでなければ…」と思うことが続いていますが、この50周年記念行事も、本来であれば、多くの方にご参加いただく形の催しをしたかったというのが本音です。

そして、病院が50周年を迎えられたのは、市民病院の運営に関わってくださった方々、そして病院を利用してくださった方々のおかげだと思い、直接感謝の意をお伝えしたかったです。



開院50周年記念検討プロジェクトメンバー

今回の地域医療連携だよりは、日頃の感謝の意を込めて、50周年の記念行事をご紹介させていただきました。これからも地域の関係機関と連携し、地域を支える基幹病院としての役割を果たしていきたいと思っています。これからの藤沢市民病院もどうぞよろしくお願いいたします。



藤沢市民病院

地域医療連携だより



2021年10月
Vol.49

〒251-8550 藤沢市藤沢 2-6-1
TEL 0466-25-3111(代表)
FAX 0466-25-3182(直通)

開院50周年にあたり

～ 藤沢市民病院50年の歩み、そして未来へ向けて～

昭和46年10月1日に開院した当院は、今年開院50周年を迎えることができました。開院50周年にあたり、これまでの当院の歩み、将来像についてお話ししたいと思います。

当院が開院以来一貫して重視してきたことは、地元医師会との連携・協調です。昭和46年当時では珍しかった臓器別の診療体制にして、専門外来を紹介予約制にしたのはその表れでした。藤沢市医師会から病院管理部の一員として非常勤副院長を派遣してもらい、また病院としての重要方針を決定する藤沢市民病院運営協議会には藤沢市三師会から委員を選出してもらっています。これらのことは、開院以来現在に至るまで継続して行われています。そうした地元医療機関との連携の下で、市民の方々には安全で質の高い医療を提供して地域の基幹病院として信頼していただけるよう努めてまいりました。

開院以来行ってきた、地域の医療機関をかかりつけにしてもらい、紹介してもらった患者さんに専門的な医療を提供するという流れは、後に創設された地域医療支援病院の認証取得につながりました。また平成18年には、念願だった救命救急センターも完成しました。平成30年には、古くなった東館を建て直す再整備事業が終了し、現在の姿の病院となりグランドオープンいたしました。開院当時の病床数は330床、診療科は19科、職員定数は312人でしたが、50年後の現在、病床数は536床に増え、診療科は35科に、職員定数は901人に増加しました。病院がここまで大きく成長できたのも、先人たちの並々ならぬ努力の積み重ね、ならびに地元三師会の先生方のご協力のお陰であり、また行政の支援なしには成しえなかったことと改めて感謝申し上げます。

この先、少子高齢化の進行とともに人口が減少していく中で、医療機関も社会の変化に対応していかなければ、病院が存続できない時代になってきています。独居老人や高齢認知症患者の増加に対応するには、医療・介護・福祉が一体となって地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの形成が求められています。

藤沢市民病院

院長 常田 康夫



開院当時



現在

この湘南東部二次保健医療圏において、藤沢市民病院はがん診療ならびに救急医療を中心とした、より急性期医療に特化した病院として、地域包括システムの一翼を担いながら市民には安全で質の高い医療を提供し、信頼され選ばれる病院になれるよう、弛まぬ努力を続けていく必要があります。50周年を迎えられたことに感謝するとともに、今後さらなる連携強化をよろしくお願い申し上げます。

開院50周年記念行事の紹介

「地域と共に 次の50年へ」

藤沢市民病院が開院50周年を迎えるにあたり、開院50周年にふさわしい行事をプロジェクトメンバーとともにすすめてきました。これまでの50年の歴史を振り返るとともに、将来を見すえた記念行事を行うことをコンセプトとして提案されました。

「50周年記念誌」の発刊を行うだけでなく、プロジェクトメンバーの発案により、4回にわたる市の広報ラジオ番組での放送、WEBを利用し職員代表17人による講演ビデオをオンデマンド発信する「50周年記念講演会」、「ロゴマーク」、「キャッチコピー」、「50周年記念パネル」、「50周年記念特別メニュー（10月1日夕食）」、「50年前の医療と現在の医療の変化」、「花と緑あふれるふじみテラスへ」、「ユニフォームの変遷」、「職員アンケート」、「現役職員による記事」などを行います。

開院50周年記念行事が、藤沢市民病院を利用されます皆さまに、24時間365日にわたり市民の生活と健康を守るべく、全職員が輝いて働いている様子を知っていただく一端となれば幸甚です。全職員が、柔軟に進化しながら、医療水準の向上に努め、心のこもった安心できる医療体制を築き、地域の皆さまから信頼される藤沢市民病院であり続けることを確信しています。

今回の「地域医療連携だより」では、開院50周年記念行事を紹介させていただきます。



開院50周年記念検討プロジェクト
委員長 西川 正憲

開院 50 周年記念行事 オンライン市民公開講座

「これまでの50年を振り返り、これからの医療を考える」

職員による記念講演をYouTubeによるオンデマンドで10/1～10/31に配信しています。
藤沢市民病院ホームページまたは右記の2次元コードからご視聴ください。

特別講演

病院長 常田 康夫 「藤沢市民病院 開院50周年記念講演」

講演

診療部 千葉 喜美男 「腎センター設立とこれから
～これまでの50年を振り返り、これからの腎代替療法を考える～」

診療部 谷垣 裕二 「藤沢市民病院における高気圧酸素治療に対する取り組み」

診療部 福島 亮介 「小児救急～地域のこどもたちのために24時間365日～」

看護部 江口 成美 「『人生会議』してみませんか？」

看護部 立山 りえこ 「『お口から食べる』ことを続けるために」

看護部 原林 千恵 「看護がもつ力」

放射線室 大矢 徳彦 「放射線室の半世紀 ～テクノロジーの進歩とともに～」

臨床検査室 中野 亘 「病院の発展と共に歩む検査室 ～臨床検査室の軌跡～」

薬局 宮澤 正幸 「藤沢市民病院 薬局 ～50年目の今とこれから～」

栄養室 中川 ひかる 「50年を経て ～2021年現在の栄養室～」

リハビリテーション室 濱野 俊明 「リハビリテーション室のご紹介」

臨床工学室 梶音 良介 「病院50周年、MEは20年目の現在地 臨床工学室」

感染対策室 清水 博之 「感染対策室 設置元年～医療関連感染や新型コロナと闘うために～」

患者総合支援センター 向 泉 「藤沢市民病院と地域をつなぐ 患者総合支援センターの紹介」

総務課 田中 潔 「市民病院の実績・取組について」

医事課 井上 裕通 「医療のデジタル化」

番外編 「ユニフォームの変遷」



開院 50 周年記念誌作成

開院からの50年のあゆみと現在の病院の姿をしっかりと残しておきたいと思い、50周年記念誌には、多くの方に執筆をお願いいたしました。原稿を書くにあたっては、現職員だけではわからないことも多く、多くの先輩方に連絡を取り、懐かしい話を聞くこともできました。その話を聞くことで、今ある姿は多くの職員の努力の積み重ねの上に成り立っていることを実感いたしました。記念誌は現在製作中ですが、より多くの皆様にご覧いただくためにデジタル化してホームページに掲載する予定です。



表紙イメージ

緑あふれるふじみテラスへ

東館6階病棟に「ふじみテラス」があります。この場所から富士山がよく見えるので、「ふじみテラス」と名付けました。このテラスには花壇がありますが、様々な条件で植物が育ちにくく有効活用ができていませんでした。そこで、今回開院50周年を機に、「緑あふれるふじみテラス」にしようという企画が立ち上がりました。現状はまだ発展途上ですが、悪条件にも負けず、いつの日か「緑あふれるテラス」になるようにがんばっていきます。



50周年記念パネルの作成

開院50周年を記念して、9月の一か月間、来院される患者さんやご家族の皆様に「市民病院へのメッセージ」をご記入いただく特設コーナーを設けました。市民病院での思い出や市民病院のここが好き、市民病院に望むこと・・・などたくさんのメッセージが寄せられました。それらのメッセージを開院50周年のロゴマークに寄せてボードにしました。温かいメッセージの数々に、職員一同感動しています。メッセージをお寄せいただいた皆様本当にありがとうございます。



50周年を記念して、職員にキャッチコピーとロゴマークを募集し、たくさんのアイディアから選ばれた作成者です。

(西川副院長と記念撮影)

キャッチコピー

地域と共に
次の50年へ



ロゴマーク

